

活動名	野 外 炊 事			
概 要	自然の中で火をおこし、料理を作るといった体験を楽しむことができる活動。			
教育的効果	(1)自然の中で調理することを楽しむことができる。 (2)自分の責任を果たすこと、仲間と協力することの大切さを感じ、一緒に作り上げる達成感を味わうことができる。 (3)食事の準備から片付けの体験を通じ、「食」の大切さや普段「食」を提供してくれている人への感謝の気持ちを育むことができる。 (4)水や薪の使用量を考えたり、ゴミを減らしたりすることで、環境を守る意欲・態度を育むことができる。 (5)火や刃物を安全に扱い、道具をうまく使う、段取り良く作業を進めるという実体験を通じ、生活力を育むことができる。 (6)次に利用する人のことを考えて、使った場所や借りた道具を清掃し、返却する体験を通じ、思いやる心を育むことができる。			
諸条件	場 所	<input type="checkbox"/> 野外活動棟 <input type="checkbox"/> 炊事場 <input type="checkbox"/> 調理場 <input type="checkbox"/> いろりの家 <input type="checkbox"/> 雨天炊事場	対 象	<input type="checkbox"/> 中学校集団宿泊学習 <input type="checkbox"/> 一般利用(小学生以上)
	時 期	通年	天 候	雨天可(荒天時は相談)
利用団体準備事項	<input type="checkbox"/> 活動場所や調理メニューの選定 <input type="checkbox"/> 雨天時の対応 <input type="checkbox"/> 引率者の役割分担(例): ① 全体の管理(時間調整や指揮) ② 係(用具、調理、火 等)の指導 ③ 片付け指導 ④ 保健 等 <input type="checkbox"/> 事前指導:グループや係分け、活動や作業の流れの指導			
利用団体準備物	<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 布巾 <input type="checkbox"/> 救急用具(切り傷、やけど等用)			
調理メニュー	カレーライス (野外)		冷やしうどん (1玉:5名分)	
	カレーライス (いろりの家)		打ち込みうどん (1玉:7名分)	
・日帰りの野外炊事のみ食材の持ち込みを認める(要相談)。 ・利用団体は、参加者から食物アレルギーの確認を行い、センターと連絡・相談を行う。				
最大人数	120人		冷やしうどん 120人 打ち込みうどん 160人	
グループ編成人数(標準)	(野外) 6~10人		大釜1基20~40人	
	(いろりの家) 大釜1基20~40人			
グループ数	(野外) 12グループ分		大釜 4基	
	(いろりの家) 大釜 4基 飯ごう 10グループ分		うどん打ち24グループ分	
貸出用具	<input type="checkbox"/> 調理器具(鍋、ザル、包丁等) <input type="checkbox"/> 食器(皿、はし、スプーン等) <input type="checkbox"/> 食器用消毒アルコール等 <input type="checkbox"/> 鉄バケツ、火ばさみ等 <input type="checkbox"/> コンロ等			
時 間	(野外) 5~6時間(12グループの場合)		4~5時間	
	(いろりの家) 4~5時間			
必須係	<input type="checkbox"/> かまど <input type="checkbox"/> 用具 <input type="checkbox"/> 調理		<input type="checkbox"/> かまど <input type="checkbox"/> うどん打ち <input type="checkbox"/> 調理	
流れ(例)	1. 集合、説明◎ 2. 飯ごう、調理開始※1 3. 火付け、飯ごう炊き※2 4. 鍋煮込み 5. 煮汁抜き 6. 味見・調整、検食集め 7. 会食 8. 片付け、返却◎		1. 集合、説明◎ 2. うどん打ち、湯沸し※2、3 3. 具材調理 4. うどん切り、根菜類煮込 5. うどんゆがき、食器準備 6. 味見、調整、検食集め 7. 会食 8. 片付け、返却◎	
リスク	<input type="checkbox"/> けが:かまど作りの時や石垣の崩壊による打撲、包丁で食材を切る時の切り傷、坂道や階段での転倒や捻挫、やけど <input type="checkbox"/> 腹痛:生焼け・生煮えの食材を食べる時や食べ過ぎ時			
施設職員支援内容	◎ 施設職員は、利用団体へ用具の貸出し、返却時の点検を主として行う。(返却前の点検は利用団体で行うこと) ※ 要望に応じて、施設職員が指導や支援を行うことができる。(指導や支援内容は下記を参照)			
	※1 飯ごうのお米と水の調整 ※2 かまどや薪の組み方 ※3 うどん玉製作工程、うどん玉から麺への工程			